

カイロプラクティックが側弯症に悩む人々に新たな希望をご提案

“人生には2通りの生き方があります。ひとつは奇跡などないと考えて生きる生き方、もうひとつは、全てに奇跡が起こることを信じて生きる生き方”

ーアルベルト アインシュタイン

当レポートは、金儲けの手段を披露するものでも側弯症矯正の“マジック”を教えるものでもありません。しかしこれは、カイロプラクティックの知識や能力を常に人々と分かち合うことがカイロプラクティックの使命である、と実感していただくために役立つレポートと言えるかも知れません。これまで、カイロプラクティックが到達せねばならない側弯症治療の成果に、限界を設けてきました。当レポートの目的のひとつは、この限界を打ち砕くことにあります。

私は、自分が側弯症治療を専門としたカイロプラクターであることを大変幸福なことだと考えていますが、同時に決して容易な仕事ではないことも認識しています。最近の研究によれば、“手技”療法を含む側弯症の代替療法（装具装着と外科手術に替わる療法、カイロプラクティックによる療法も含まれる）は、費用効率の低い療法¹であるとも言われていますから。Skip Lantz は、カイロプラクター、即ち背骨専門のドクターは、“背骨の疾患²である側弯症の治療を得意としない”、とさえ述べています。これまで余りにも長い間、カイロプラクティックによる側弯症治療の基準が低過ぎる位置に設定されてきました。しかしその後、3名のカイロプラクターにより発表された事例シリーズが注目を集め始めました³。今日では、関連記事の中で常に最もアクセス率が高い記事としてリストアップされています。

上記の実例シリーズへの人々の関心は、カイロプラクティックに今何が可能かを探り、現在のパラダイムを変えるための機会を提供してくれることになりました。しかしながら、従来のカイロプラクティック療法を守りつつ新たな可能性を探し出すとは何を意味するのか、側弯症治療の道を如何に歩むべきか、という全ストーリーが机上の研究のみによって解明できるはずはありません。それを可能とするのは、治療を実際に受けた患者の実体験を基にした研究だけなのです。

ローランの談話

ローランは13歳の時に初めて側弯症と診断されました。症状が軽い初期段階では、治療

は何も行われませんでした。これは、“症状を見守る”段階、あるいは単に観察段階と呼ばれています。他のどんな状態や病気でも、病状が悪化するまで何もせずに待つなど、考えられないことですが、側弯症に限ってはこれが普通に行われているというのが現状です。

カイロプラクティックは側弯症治療の最強手段であるべきです。

状態が悪化すれば、装具（コルセット）が処方されます。ローランは日に 23 時間、嵩張って不格好なこの装具を毎日着けなければならないと言われ、装具の装着は背骨がすっかり成長した時まで続けました。彼女の背骨の状態は少しも改善しませんでした。装具の装着による治療は成功であるとみなされました。

1 日に 23 時間要する治療（コルセット装着）を数年間も続け、治療を始めた最初の状態と何も変わらない結果であったとすれば、治療が成功したと考えるでしょうか？ 私なら否と答えます。しかしそれが側弯症に関したことであれば、これは普通のことなのです。

側弯症治療に関し、カイロプラクティックは目に見える測定可能な進歩を遂げるべきです。

装具が取り払われた後、ローランは、骨格の成熟後には背骨が悪化することはないとドクターに告げられました。しかしながら残念なことに、彼女の背骨はドクターの言葉を聞き入れず、18 歳から 22 歳までの 4 年間で側弯角度が 22° から 46° に進行してしまいました。そして、残された手段はただひとつ、金属性ロッドとねじくぎを使って背骨を接合する外科手術だけと告げられました。

外科手術は、側弯症の唯一実質的な“治療法”と言われていますが、実際のところは、あるひとつの畸形（柔軟性のある湾曲した背骨）をそれとは別の畸形（湾曲角度は小さくなっているが硬くて柔軟性のない背骨）に置き換えるだけなのです⁴。美的見地での見かけ、肺機能、そして生活の質が手術後に必ず向上する、ということはありません⁵。側弯症手術は、コブ角度が術後に縮小した際に成功と考えられていますが、側弯症の要因はコブ角度の大きさだけで測れるものではありません。

カイロプラクティックは、西洋医学とは違った計測機器をしようとしており、また私たちカイロプラクターは、健康や病気に関しても西洋医学とは異なった見解を持っています。私たちは症状ではなく原因を治療しているのです。コブ角度が側弯症の原因ではありません。原因を矯正すれば、レントゲン写真上の美しさだけでなく、痛み、臓器の機能、呼吸、長い目で見た質の高い生活など、如何なる要因をも改善し、患者に提供することができ、またその効果も計測が可能です。

カイロプラクティックは、側弯症の原因究明に全力を尽くさねばなりません。

ローランのお母さんは、あるカイロプラクターを通して私のオフィスのことを知りました。そのカイロプラクターとは、ダラスでセミナーに通い新しいカイロプラクティックの治療法を学んだ人でした。娘の治療のために ローランのお母さんは何時間もかけてダラスまでやってきました。そして家族で2週間ダラスに滞在し、ローランは、毎日私たちと共に治療に専念することになりました。ローランのお母さんがダラスを後にする前に、下記の感謝状を残してくれましたが、これまでの何にも増して感動的なものでした。

以前ローランが受けていた側弯症治療法のことを思い出してみると Josh 先生の下で受けた治療法とは比較にならないものでした。Josh 先生の所での研究は客観的所見に基づいたものであり、研究と体験に基づいた治療が行われているのです。ここでは成功への秘訣として患者も治療に参加させ、目標達成を目指すよう、患者に対しても負荷をかけます。これまで私は、このようなやり方を他のどこでも見たことがありません。ここでの治療を受けた娘の姿勢や体力、そして痛みの程度に、私は今までとは大きな差があることに気が付きました。以前、娘は痛みのために椅子に1時間以上腰掛けていることができませんでした。今では痛みを和らげるために横になることもありません。そして、一生を通して逃れることができない、と何年にも亘って言われてきた厄介な症状は、娘の生活から完全に姿を消したのです。

今日では、ローランが最初に私のクリニックを訪ねてきたときから1年以上が経過しました。コブ角度は32° ですので、ローランの側弯症は決して完治した訳ではありません。しかし今ではローランは外科手術対象者ではなく、ロッドを背骨に取り付けられるという恐怖から逃れることができました。痛みもなく、これまでよりずっと元気で朗らかです。ローランは彼女の生活を取り戻したのです。カイロプラクターとして、人々のより良い人生に手を貸すことができるとは、何と素晴らしいことでしょう。

もしもっと多くのカイロプラクター（背骨専門ドクター）が、側弯症（背骨の疾患）に取り組んでいれば、以上のような成功談をより多くご紹介することができたでしょう。側弯症治療のカイロプラクターを探せば、そこには治療成功談が見つかるでしょう。彼らはレーダーの下を飛行しながら、日々、カイロプラクティックが引き起こす奇跡を実現しています。彼らは、不可能だと言われてきたことを可能にしているのです。

“21世紀の文盲とは読み書きができない者のことではなく、学ぶことや学びなおすことができない者のことを指すであろう”

— アルヴィン トフラー

側弯症は背骨の疾患です。側弯症と診断されたら、解答を見出すために背骨のドクターであるカイロプラクターをまず思い出すべきです。側弯症に悩む人々に対し、カイロプラクティックがひとつの解答を提案できる、という事実をまず認識することが、我々カイロプラクターとしての責務です。側弯症に悩む人々に援助の手を差し伸べる手段を有することを私たちの財産と考え、今後もこの素晴らしい財産を引き継いでください。そして、カイロプラクティックには人々の背骨と生活を変える力があることを、実感してください。

(上記レポートは、間もなく健康医療関連雑誌に掲載されます。)

著者紹介

Dr. A Joshua Woggon は、Parker College 2010 年卒業、テキサス州ダラスにある Clear Institute and Research Clinic (www.clerscoliosisclinic.com) 所長、カイロプラクティックによる側弯症矯正に貢献する NPO を主宰、連絡先は、iwaggon@clear-institute.org

参考文献

- 1) Glassman et al: the costs of nonoperative management for adult scoliosis. Spine 2010;35(5):578-582.
- 2) Lantz & Chen: Effect of chiropractic intervention on small scoliotic curves in younger subjects: a time-series cohort design. JMPT 2001;24:385-93.
- 3) Morningstar et al: Scoliosis treatment using a combination of manipulative and rehabilitative therapy. BMC Musculoskeletal Disorders, 2004;5:32.
- 4) Goldberg et al: Adolescent idiopathic scoliosis: the effect of brace treatment on the incidence of surgery. Spine 2001;26(1)42-7.
- 5) Weiss & Goodall: Rate of complication in scoliosis surgery- a systematic review of the Pub Med literature. Scoliosis 2008;3-9.

Dr. Hugh Kieu より Dr. Joshua Woggon へ

側弯症リサーチに多くの時間と努力を捧げられ、また側弯症とカイロプラクティック療法の真実を世界中の人々に知っていただくことに多大な貢献をされました Dr. Joshua Woggon に、深くお礼申し上げます。